

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回宍粟市地域包括支援センター運営協議会及び 令和6年度第1回宍粟市地域ケア推進会議	
開催日時	令和6年6月27日（木） 13:30～15:00	
開催場所	宍粟市役所北庁舎4階 401会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	垣尾会長	
委員 氏 名	（出席者） 船曳委員、米田委員、井原委員、山田委員、 橋本委員、志水（幸）委員、志水（照）委員、 堀田委員、縣委員、西川委員、平山委員、 立花委員	（欠席者） 祐谷委員、岸本委員、 前野委員、溝端委員
事務局 氏 名	（健康福祉部） 三木部長 （一宮保健福祉課） 菅谷係長 （千種保健福祉課） 坂口主任保健師 （福祉相談課） 栗山課長、田中副課長、吉田係長、中川係長 竹内主査、鎌田社会福祉士 （宍粟市社会福祉協議会） 猪尾生活支援コーディネーター 西村生活支援コーディネーター	
傍聴人数	1人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） 3. 宍粟市地域包括支援センター運営協議会 （1）令和5年度地域包括支援センター事業報告について （2）介護予防支援事業者の指定について 4. 宍粟市地域ケア推進会議 （1）More 繁盛の活動紹介、意見交換	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） _____	

(会議の経過)

発言者	課題・発言内容
事務局	1. 開会
事務局	2. あいさつ 会長より 健康福祉部長より
進行：会長	3. 宍粟市地域包括支援センター運営協議会 (1) 令和5年度地域包括支援センター事業報告について ・「資料1」を用いて事務局より説明 P11：一般介護予防事業の実績報告 P36：特殊詐欺の被害防止に関する支援（宍粟警察署と協定締結） P40：エンディングノートの作成等 ※事業実績報告に関する委員意見なし ・介護予防支援事業者の指定について 「別紙」を用いて事務局より説明 ※「包括的な委託」の運用について、委員全会一致で承認
委員 A	質問：介護予防支援事業者の指定について、実際にはどのような動きとなるのか。
事務局	回答：制度改正前は、予防給付（総合事業を含む）については地域包括支援センターからの委託でのみ居宅介護支援事業所は担当することをできていたが、改正後は予防給付（総合事業は除く）のみ居宅介護支援事業所が直接担当することができる。しかし、サービス内容の変更により居宅介護支援事業所が直接担当することができなくなってしまった場合に、地域包括からの委託に切り替えることとなるが、その場合に個別に運営協議会の意見を伺うのではなく、(包括的な委託とすることについて) 今回の会議で承認をいただきたい。
委員 B	質問：利用者が担当のケアマネを決める際には、どこに相談すればよいのか。
事務局	回答：現在と同様に地域包括支援センターが相談窓口となる。
委員 A	質問：地域包括が担当する場合のサービス利用は何になるのか。
事務局	回答：現在の運用に加えて、予防給付のみの場合、居宅介護支援事業所が直接

<p>事務局</p>	<p>担当することが可能となる運用に変更するが、利用者の不利益になるようなこととはならないような形での運用を検討している。</p> <p>4. 宍粟市地域ケア推進会議</p> <p>(1) More 繁盛の活動紹介 (More 繁盛代表者から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動までの経緯、現在の取組、現在の課題 (詳細別紙参照) <p>(2) 意見交換</p> <p>グループに分かれ意見交換、意見発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1G：乗合送迎 (住民間で運転が可能な人に協力を依頼) <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関へ送迎等の協力を相談してもいいのではないか 住民間の乗合の場合、気を使われることが課題となる可能性がある ・2G：ふれあい喫茶の送迎 <ul style="list-style-type: none"> スクールバスの利活用を検討してもいいのではないか 福祉施設の送迎サービスの活用を検討してもいいのではないか 通勤時に同乗して送迎が可能ではないか ・3G：普段からの関係作りがあれば住民間での乗合が可能ではないか <ul style="list-style-type: none"> 住民間での乗合送迎をする場合には仕組みづくりが必要ではないか (保険や運転ルール等) ファミリーサポートの高齢者版を作るのがいいのではないか。 ・4G：公的な仕組みづくりをしたうえで、持続的な送迎を検討してもいいのではないか <ul style="list-style-type: none"> 福祉施設の送迎サービスも検討できるのではないか 地域パトロールの協力も検討できるのではないか 電動カートの再利用の検討 <p>「三方繁盛つれてってカー」について、まちづくり推進課より説明 その他取り組み事例発表 「資料4」を用いて、まちづくり推進課より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域運営を継続するために新たな仕組みとして、地域運営組織が地域住民等と協働して地域づくりを創出したいと考えている。 <p>生活支援コーディネーターの紹介</p>
<p>事務局</p>	<p>5. その他：特になし</p> <p>6. 閉会</p> <p>副会長より</p>